

コミュニティソーシャルワーク・ パワーアップセミナー2025

一日目

9/5 (金)

13:30~16:30

二日目

9/6 (土)

10:00~16:40

全国で広がっているコミュニティソーシャルワーク実践のさらなるパワーアップをめざし、全国の意欲的・先進的なコミュニティソーシャルワークの実践報告、また、コミュニティソーシャルワークの入門ワークショップ、さらに重層的支援体制整備事業の今後のあり様についての基調講演、コミュニティソーシャルワーク実践におけるアウトリーチのあり方をシンポジウムで探ります。

定員

(申込先着順)

会場参加

: 63名

オンライン参加 : 100名

全体会場

大正大学巣鴨キャンパス

5号館5階553教室

(Zoom配信あり)

コミュニティソーシャルワーク入門ワークショップ会場

大正大学巣鴨キャンパス

5号館2階TSRスタジオ1

開催方法 : 対面とZoomのオンラインによるハイブリッド方式

主催 : 特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

後援 : 日本地域福祉学会 (予定)

対象 : コミュニティソーシャルワーク実践に関する関係者、研究者・学生等

プログラムは裏面にございます。その他詳細は、日本地域福祉研究所のWebサイトをご覧ください。
<https://www.jicw.jp/>

参加費

個人 :

一般

日本地域福祉研究所所員

大学院生・学生

2日間 5,000円 1日のみ 3,000円

2日間 4,000円 1日のみ 2,000円

2日間 2,000円 1日のみ 1,000円

団体参加 : 5名以内 (オンライン参加のみ) 15,000円、6名以上は追加5名ごとに10,000円

締め切り 2025年8月25日 (月)

申し込み 右のQRコードから
お申し込みください。



プログラム

〔第一日目：9月5日（金） 13:30～16:30〕

コミュニティソーシャルワーク実践報告

順	報告テーマ	所属
1	地域の力で子どもを育む、区内 100 カ所のこどもテーブル	東京都渋谷区社会福祉協議会
2	文房具の寄附を通して地域をつなぐスタディドライブ	東京都大田区社会福祉協議会
3	掛川市におけるひきこもりサポート ～つどいの場『My ラボ』の実践～	静岡県掛川市社会福祉協議会
4	コミュニティソーシャルワークの視点による ファンドレイジングの展開	三重県伊賀市社会福祉協議会

〔第二日目 9月6日（土） 10:00～16:40〕

〔午前の部〕

コミュニティソーシャルワーク実践報告

順	報告テーマ	所属	同時開催 コミュニティ ソーシャルワ ーク入門 ワークショップ ↑
1	計画づくりは地域づくり ～日常生活圏域の特色活かした地域福祉活動計画～	岩手県 花巻市社会福祉協議会	
2	障害者施設が行う地域の高齢者への買い物支援と 交流事業の展開	東京都三鷹市 社会福祉法人にじの会	
3	妊娠期から 18 歳までの子ども・子育て家庭を 地域のネットワークで支援	埼玉県新座市 NPO 法人 新座子育てネットワーク	

コミュニティソーシャルワークの基本を学ぶミニ講義とグループワークです：定員 30 名（会場のみ）

〔午後の部〕

第Ⅰ部 基調講演

「自治体における重層的支援体制整備事業とコミュニティソーシャルワーク実践」
ー地域共生社会の在り方検討会議報告を踏まえてー（仮題）

日本福祉大学学長・日本地域福祉研究所副理事長 原田正樹

第Ⅱ部 シンポジウム

コミュニティソーシャルワーク実践におけるアウトリーチの意義と方法、そして課題を探る

シンポジスト

○行政の立場から

東京都狛江市福祉政策課 福祉政策係係長 小島諒氏

重層的支援体制整備事業の一環として各種民間事業者等の協力を得て「つながるシート」を活用したアウトリーチを積極的に推進

○NPOの立場から

認定特定非営利活動法人 スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口仁史氏

不登校・ひきこもりの子ども・若者へこれまで約 6 万 7 千件以上のアウトリーチを展開、その徹底した寄り添いの実践が 2015 年 8 月 NHK 『プロフェッショナル 仕事の流儀』で紹介

○社協の立場から

秋田県藤里町社会福祉協議会 会長 菊池まゆみ氏

4 千人足らずの町で約 110 人のひきこもり状態にある人にアウトリーチを実践、過疎の町おこしの貴重な人材に。2025 年 2 月 NHK 『新プロジェクト X～挑戦者たち』に出演